国際ロータリークラブ第2730地区　日南ロータリークラブ

週　　報

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「ロータリーの原点に戻る」

例会日　毎週水曜日　12：30～　　例会場　ホテルシーズン日南
住所　日南市園田3-11-1　TEL 0987-22-5151　FAX 0987-22-9588　　会長　豊田裕康

疾病予防と治療月間

第3286回例会		№16	2021.12.22	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12時30分　「それでこそロータリー」			
四　つ　の　テ　ス　ト	石崎智則　君			
例　会　行　事	会長アワー（半期を振り返って）			

幹事報告

1）各自BOXの整理整頓をお願い致します。

例会行事　　会長アワー（半期を振り返って）

1　みなさん、こんにちは。本日は今年の最後の例会となります。皆様年の瀬でお忙しいことと思いますが、体調にだけは十分お気を付け下さい。

早いものでして、私の会長年度も本日で半分が終わることとなりました。会長就任準備にあたって、4月4日に会長エレクト研修セミナーがオンラインで行われ、4月24日には地区研修協議会がこれもオンラインで行われました。

コロナ前には、会長エレクト研修セミナーはガバナーの地元において泊まりがけで行われ、地区研修協議会も次年度理事役員や各委員長だけでなく各会員も参加して次年度の方針について協議が行われてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延により集合しての研修は開催されませんでしたので、次年度の準備や自覚という点では集合研修の時と比較してモチベーションを維持するのは難しいと感じられた方が多いのではないかと思います。

コロナ前であれば、地区研修協議会での協議事項を元にして、新年度開始前に次年度委員会を開催し、その協議結果をガバナー補佐ご臨席の下クラブ協議会で発表していました。ところが、昨年度に引き続き次年度委員会が開催されず、各委員長による報告のみでクラブ協議会を済ませましたから、会員の皆様も自分の所属する委員会についてなかなか自覚を持つことが難しかったことと思います。次年度委員会と大層な名前ですが、実際には協議後の懇親会がメインで，新年度に向けた顔合わせや親睦を図るという意味合いが強かったのですが、この機会はＲＣ会員間の結束を深めるには重要な機会であったと思います。来年の次年度委員会が開催できれば3年ぶりということになりますが、無事開催できることを切に願っております。

2　7月7日に今年度第1回の例会が開催されましたが、会員総数32名での出発となりました。今月いっぱいで山口秀一君が退会し年明けは31名でのスタートとなります。2年後の70周年に向けて会員拡大を図りたいところですが、既存会員の皆様が退会せずに積極的にロータリー活動にご参加頂けるよう、魅力ある例会運営に努めてまいりたいと思っております。

7月14日には日髙章太郎ガバナー補佐の公式訪問例会でクラブ協議会が開かれました。先ほども申し上げましたが、クラブ協議会は次年度委員会が開催されなかった関係で各委員長作成の報告のみという簡略な形となりましたが、年明けのクラブ協議会におきましては，形式的な各委員長の報告ではなく、会員の皆様にグループごとの議論をして頂く方向で検討しておりますので、ぜひご参加下さい。

7月28日の例会におきましては、ロータリーの７つの重点分野についてのお話しをし、昨年度新たな重点

分野に指定された「環境の保全と保護」についてのお話しをしました。近年各事業所でも経営の重点目標となっているＳＤＧｓについて解説をし、水資源や穀物資源及び肉類を今後も持続的に確保することの困難さについてお話しをしました。

３　8月は会員増強・新クラブ結成推進月間でした。地区より宮崎県南部グループ内での増強活動の組織化と女性会員及び40歳未満の会員の増強を求められております。ただし，コロナ禍の中で会員増強が困難であることは皆様ご承知のとおりで、既存会員の退会防止を最優先事項にすべきであると考えます。

8月3日には、毎年恒例の道路清掃活動が早朝行われ、多くの皆様にご参加頂き良い汗をかいたのではないかと思います。

東京オリンピックが終了した直後の8月11日の例会は、新型コロナウイルスの蔓延により食事なしの短縮例会となりました。この後、宮崎県独自の緊急事態宣言が発令され、日南・串間圏域が感染急増圏域（赤圏域）となったため、9月末まで例会が中止となり、昨年に引き続き高校生の就職支援セミナーは中止となってしまいました。飯干青少年委員長及び竹井副委員長には事前準備に奔走して頂きましたが、今年学校側と協議を行い準備してきたことは来年の開催へと繋がると思います。

休会中は、会長時間及び幹事報告、結婚誕生卓話を会員の皆様に配布することでロータリーと会員の皆様との繋がりを何とか維持しようと努めてまいりました。休会中の会長時間の話題としましては、鉄砲伝来についての話しの中で日南にゆかりのある南浦文之の話題、基本的教育と識字率向上月間である9月には現代日本における在住外国人の教育の問題、日本が過去に経験したパンデミックのうち奈良時代の天然痘の話題、カネミ油症の話題，台風14号による海岸線と日南線の寸断の話題等を取り上げました。

４　10月6日、日南・串間圏域が赤圏域から黄圏域まで2段階警戒レベルが下がり通常例会の開催が可能となりましたが、会場準備の都合から短縮例会として久しぶりの例会開催となりました。

10月は地域社会の経済発展特別月間であり、貧困の撲滅に向けたロータリー活動についてのお話しを致しました。

例会再開直後ではありましたが、延期されておりましたガバナー公式訪問が10月22日にあり、井福ガバナーをお迎え致しました。会員の皆様でガバナーをお迎えするのは2年ぶりとなりました。クラブフォーラムにおきましては、榎木田君によるクラブの課題についての発表、井野畑君による当クラブの奉仕への取り組みについての発表、竹井君によるIMについての発表がなされ、ガバナーよりご講評を頂きました。ガバナーからは、わかば奨学金や翡翠賞の授与等について過去の記録を閲覧できるように公式訪問報告書に記載すること等の提案がなされました。以前より、ロータリーは素晴らしい事業を行っているのに広報や宣伝が下手でもったいないということが言われておりますが、マスコミ各社への売り込みについても積極的に行っていく必要があると思います。

10月24日は世界ポリオデーでしたので、ポリオ野生株の根絶に向けてなされている国際ロータリーの活動についてのお話しを致しました。最後に残った2カ国であるアフガニスタンとパキスタンにおいては政情不安からワクチン接種が進んでいませんが、幼い子供達へのワクチン接種を進めるための努力がなされております。

27日の例会時にはわかば奨学金の授与式が行われました。高校生・専門学校生6名に各12万円の奨学金を贈呈致しました。授与式の様子は宮崎日日新聞に掲載して頂いたほか、ケーブルテレビでも放送をして頂き過去に奨学金を授与された方のインタビューもあり、わかば奨学金が実際に役立っているということを実感することができました。

５　11月はロータリー財団月間となっており、ポリオプラスや補助金事業についてのお話しをしました。当クラブは地区補助金と会員の皆様の寄付を合わせてわかば奨学金事業を行っております。地区補助金は皆様の財団への寄付の還元という意味もございますので、積極的なご寄付をお願い申し上げます。

17日には1年ぶりのゲスト卓話となる西都ロータリークラブの上田晋(ひろし)様のお話しがありました。昨年度にも卓話をお願いしていたところですが新型コロナの蔓延により延期となり、このたびようやく日南にお越し頂き熱いロータリー愛を語って頂きました。

23日には当クラブが特別協賛としてメダルを贈呈している日南市の少年野球大会が開催され、東光寺球場での開会式に出席し挨拶をしてきました。女の子も含めて日南市内の9チームのクラブが元気に入場行進をしていましたが、スタンドは保護者の方々で満席となり、感染状況が落ち着いての久しぶりの大会に皆さんはりきってらっしゃいました。

24日は1年ぶりとなる夜間例会親睦会が開催されました。久しぶりの宴会でしたが，各テーブル4名以内として感染対策をとった上で皆様お楽しみ頂いたのではないかと思います。

6　12月に入り8日には総会及び2年ぶりとなる忘年会が開催されました。私が入会してから総会・忘年会は丸万において開催されてきましたので、ホテルシーズンでの忘年会は新鮮な感じがしました。皆様のご協力のおかげをもちまして滞り無く総会を無事に終えることができました。忘年会におきましては、井野畑親睦委員長に様々な趣向をこらして頂きまして、オークションでは皆様に多額のご寄付を頂き、今年の一文字におきましては皆様のこの一年を象徴する漢字を色紙にお書き頂き、一年を振り返る良いきっかけとなったのではないかと思います。

12月は疾病予防と治療についてのロータリー特別月間となっており、先週の例会におきまして、新型コロナウイルス対策に奔走されておられる峰松会員に新型コロナウイルスに関して卓話をして頂きました。新型コロナウイルスが落ち着くまであと2年はかかるというお話しで先が長いなというのが実感でしたが、今後新たな感染症が発生する可能生もあるわけでして、もうマスクやアクリル板、消毒液のない生活に戻ることはないのだろうと思います。

7　この半年の間，途中休会もありましたが、会員の皆様が健康に過ごして例会に出席できたことは何よりであったと思います。年明け後の残り半年につきましても、皆様と毎週顔を合わせるのを楽しみにしております。年明けには70周年の黒岩年度の開始まで1年半を切り、そろそろ70周年記念事業の準備も始まることと思います。皆様にも様々なご協力をお願いすることとなると思いますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

それでは，良いお年をお過ごしください。

以上で半期を振り返ってのお話しを終わります。

スマイル

古澤昌子君　仕込みが無事終わりました。厳しいながらも上手く醸せました。八重桜干支壺を各メディアに取り上げて頂きました。37 年目です。

甲斐信之君　職員の不祥事件並びにコロナ感染については、大変ご迷惑とご心配をおかけ致しました。

峰松俊夫君　週報の会員卓話において、武漢を四川省と記していました、正しくは湖北省です。すみません。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	ＨＣ出席	MU	欠席	出席	出席率
今　週	32	6	26	18	6	2	24	92.30%
出席免除	落丸、村上、清水、渡邊、山口、守永、							
先取MU	榎木田、菊池、石灘、鬼束、日髙、入中							
欠　席	齋藤(奈)、村社							

事務局〒887-0014　日南市岩崎 3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515
会長：豊田裕康　　副会長：入中英雄　　幹事：簗瀬敦　　雑誌会報広報委員長：河野通郎
雑誌会報広報委員会より　　原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jp まで送信してください。